

# SUZUKI HARMONICA REPAIR TOOL SET

スズキハーモニカ修理工具セット [ HRT-01 ]

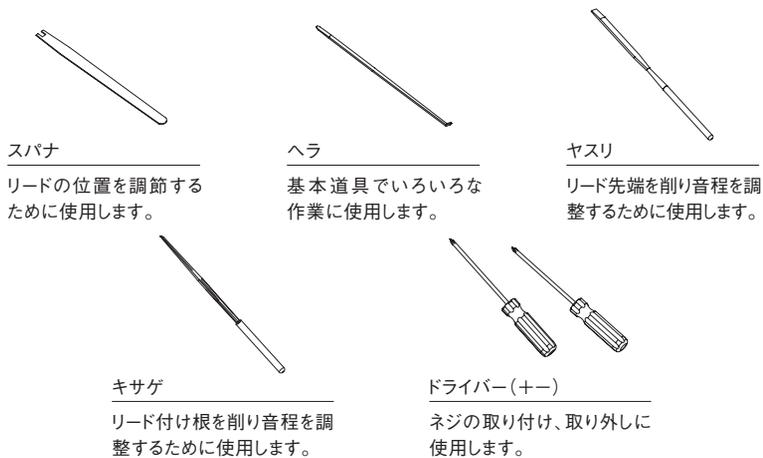
## ご注意

- 製品の性質上、全てのハーモニカの調律作業を可能にする物ではございません。
- 作業は静かな場所で細心の注意を払い行ってください。
- 部品自体の耐久性には限界がございます。
- 本製品の使用において発生した破損・怪我に関しましては、責任を負いかねます。  
以上をご理解頂きました上、ご自身の責任の下ご使用ください。

## まずはじめに

ハーモニカは生楽器ですので一定期間の使用ごとにメンテナンスをする事でより良い演奏をする事ができます。また、ある程度上達してくると演奏者各々に合わせたセッティングは演奏に磨きをかける上でも必須となってきます。HRT-01は携帯性も踏まえた最低限の工具セットですが、リード交換以外の通常メンテナンスはすべてできます。可能であればメンテナンスに熟練した方に直に教わってから挑戦することをお勧めします。最初は壊れたハーモニカなどで練習してから大切なハーモニカのメンテナンスに取り掛かったほうが良いでしょう。一度わかってしまえば難しい事ではありませんのでぜひ挑戦してみてください。

## 内容物

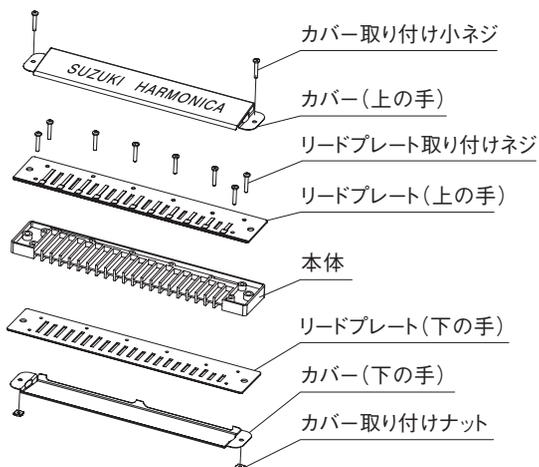


## 主なメンテナンス内容

- A ハーモニカのクリーニング
- B リードアゲミ調整
- C リード調律
- D リード位置調整

## A ハーモニカのクリーニング

ハーモニカの日ごろのお手入れは唾液を出し、口が触るところをハーモニカクリーナーなどで拭き取れば十分です。長期間使用后、本体内部に汚れがたまった場合は図のように分解し本体をクリーニングします。分解したプラスチック本体は水で洗うことも可能です。リードプレートは糸くずが出ないやわらかい布にハーモニカクリーナーを吹きつけ拭き取ります。リードは繊細ですので引っ掛けて曲げたりしないよう細心の注意を払って取り扱ってください。

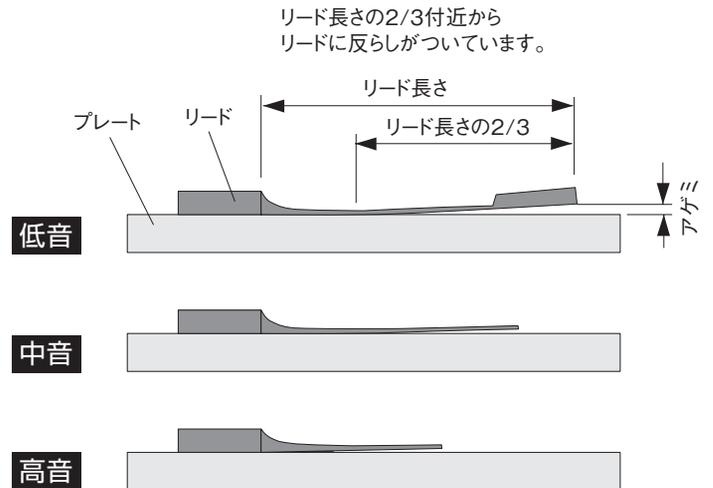


\*ハーモニカは各部品に隙間が無いようしっかり組み立てることが大切です。本体とリードプレート、リードプレートとカバーなどよく確認し、ゴミや緩みで隙間が無いよう組み立ててください。リードプレートやカバーには隙間無く組み立てられるよう反らしがついています。

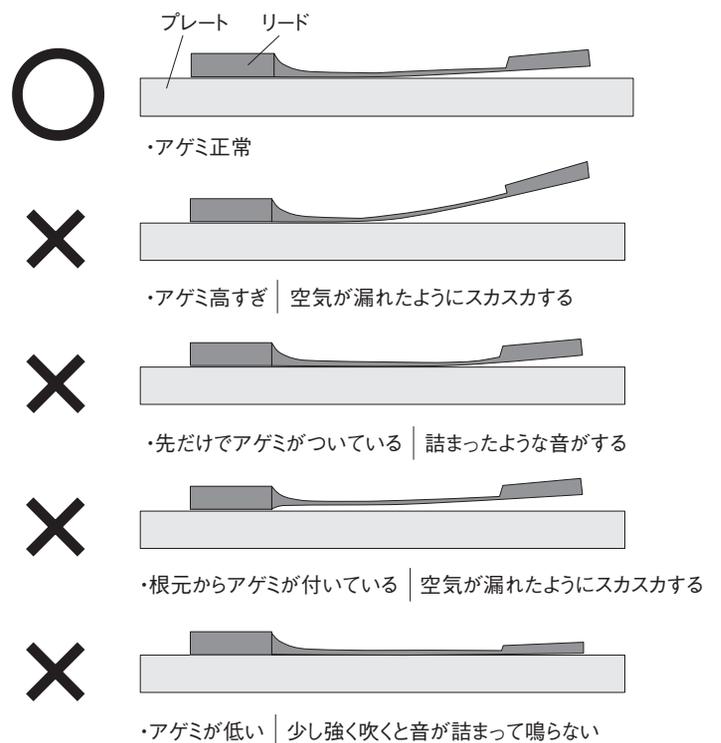
## B リードアゲミ調整

### アゲミとは

リードには「アゲミ」という空気が流れるための反らしがついています。低音はゆっくりと多くの空気が流れる必要があり、アゲミを高くします。高音は空気を早く鋭く流す必要があり、アゲミを低くします。アゲミが低いと音の立ち上がりで吹き詰まりやすく、高いと息漏れしたような感じとなります。演奏者に合ったアゲミにすることでより良い演奏ができるようになります。



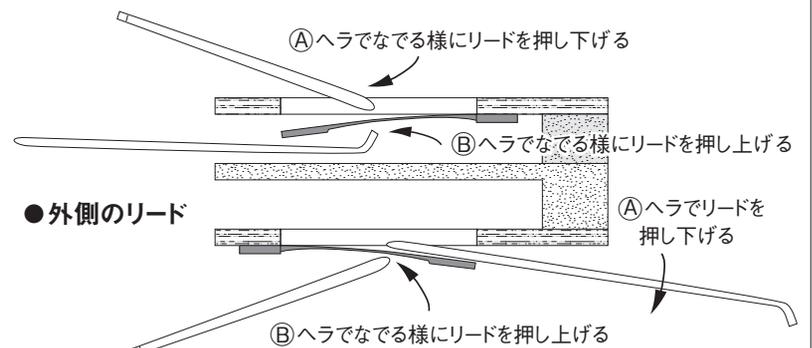
### リードアゲミの例



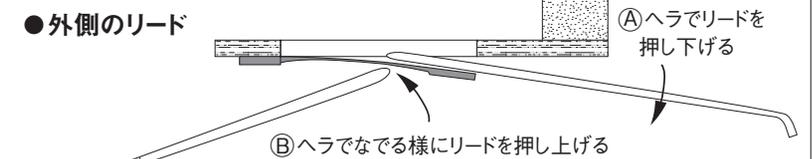
アゲミの調整はヘラを使い自分の好みに合わせます。

- ①:アゲミを高くしたい時
- ②:アゲミを低くしたい時

### ●内側のリード



### ●外側のリード



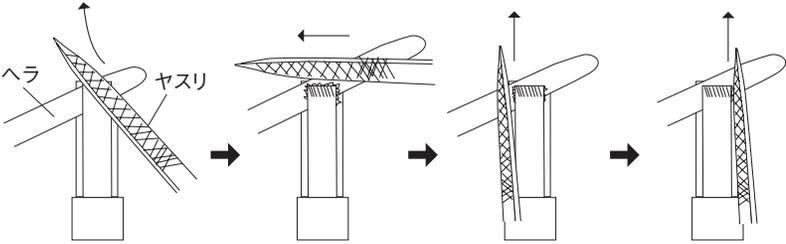
### C リード調律

リード調律を実際に行う前にリードの削り方を覚えましょう。

#### リードの削り方

##### 音を高くする場合

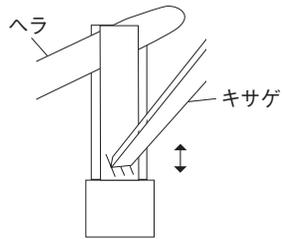
リードの先端を薄く削ることで音程を高くすることができます



- ①先をヤスリで削る
- ②削った部分に削りバリ(削りかす)が残るのでヤスリで整える
- ③削った部分に削りバリが残るのでヤスリで整える
- ④削った部分に削りバリが残るのでヤスリで整える

##### 音を低くする場合

リードの根元を矢印方向にキサゲで引っかくように削ることで音程を低くすることができます。



根元をヤスリで削る

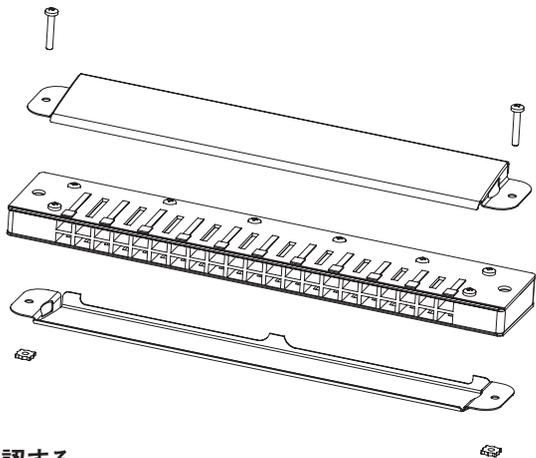
リードの削り方を覚えたら実際に調律しましょう。

#### 調律の仕方

##### ①カバーを外す

音がおかしいところを確認してからカバーを図1のように外します。(図は複音ハーモニカですが他のハーモニカも同様に考えてください。)

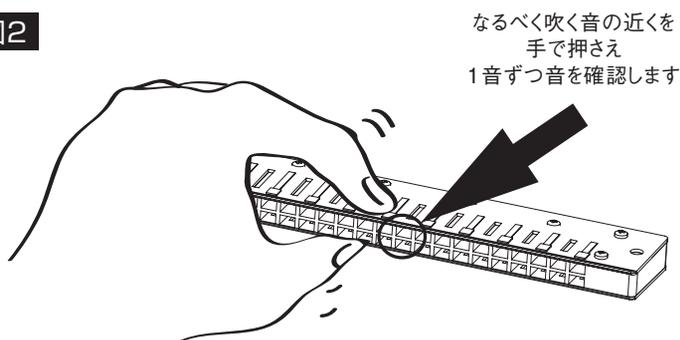
図1



##### ②音を確認する

チューナー(1cent単位で音程が読み取れるものをお勧めいたします)を使用しカバーを外した状態で狂っている音を確認しながら調律作業を行います。このとき、図2のようにしっかり吹き口側を上下に押さえて音を確認しないとカバーを取り付けたときに音が変わってしまいます。この状態でうまく吹けない場合、カバーをかぶせた状態で音を確認すると良いでしょう。複音ハーモニカの場合、上下のリードを別々に確認する必要があります。上下をうまく吹き分けられなければ、もう一方の手で片側のリードを押さえ片側だけ鳴るようにし、音程を確認すると良いでしょう。

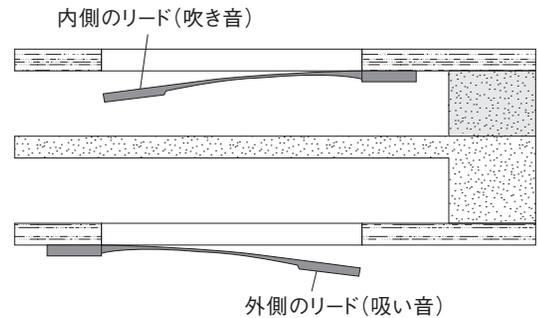
図2



##### ③吸い音を調律する場合

図3(断面図)のように吸い音のリードは外側についていますので、そのまま「リードの削り方」の手順どおりに調律してください。

図3

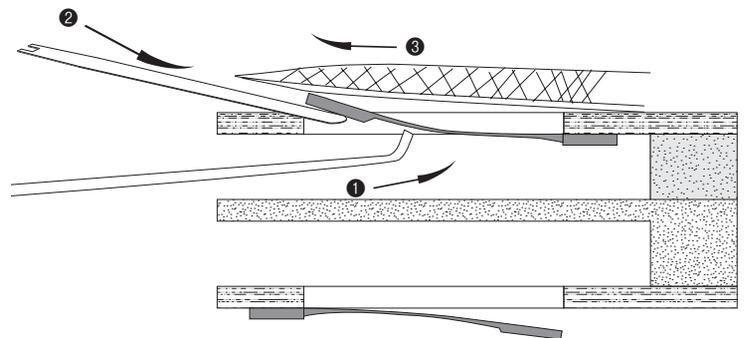


##### ④吹き音を調律する場合

###### 〈音を高くしたいとき〉

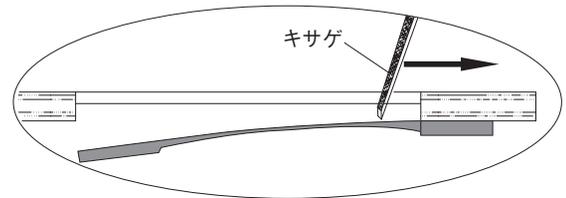
図4のように①ヘラを使ってリードを外に押し出し、②スパナの反対側をリードにはさみ、③先端をヤスリで削ります。

図4



###### 〈音を低くしたいとき〉

外側からリードの裏の根元をキサゲで引っかくように削ります。



△ 注意：調律後にアゲミが変わることがあるので再度確認してください。

### D リードの位置調整

リードはほんのわずかな隙間をもってプレートに取り付けられています。分解・再組み立てなどによってリード位置がずれプレートにリードが接触し音が正しく鳴らない場合があります。この場合、スパナを用いて図のようにリード位置を修正します。光にかざすことでこのわずかな隙間が見やすくなります。

△ 注意：大きく位置を動かすとリードは取れてしまったり取り付け力が弱まりますので移動はほんのわずかに留めてください。

リードがプレートに接触

リード正常位置

